

トンネル点検について

2018.12.17



今回はトンネル点検作業について紹介します。

●トンネル点検とは？

いつでも安全に使うことができるように、トンネル内に危ないところがないか調べることです。

定期的にトンネル点検をすることで、小さな異常にすぐに気づくことができ、大きな事故が起こらないように前もって対策することができます。

最近では、奈義トンネルで2018年10月19日に点検作業を行いました。

そのトンネルの点検方法を紹介します。

○打音検査



点検ハンマーでトンネル内の壁を叩き、
その音を聞いてコンクリートに浮いているところがないか調べます。

○目視点検



腐食や破損などがいないか、近づいて目で見て確認します。
この写真ではトンネル内の高い位置にある配管を確認するために、
リフト車を使って作業しています。

上記の点検で見つかった損傷箇所を紹介します。



このような状態のままにしておくと、トンネルの壁からコンクリートがはがれたり、配管が道路へ落下したりと大きな事故に繋がる可能性があります。そのため点検後、損傷箇所に適切な補修を行います。



岡山国道事務所では道路利用者の安全を守るために、
このような点検を定期的に行っています。
今後も事故が起こらないよう、点検を続けていきます！

記事作成：管理第二課